

法人（事業所）理念		一人一人の個性や特性に寄り添い、成長する可能性を引き出す、また強みを強化できるように専門性に基づいた支援を提供します。家庭・教育・福祉のトライアングルを定着し、個の成長につなげます。	
支援方針		個々に応じたプログラムを専門職や他者と一緒に行い、成功体験を積み、自己肯定感を向上させます。一人でできることを増やし 自分らしく生活できる力を育みます。	
営業時間		平日13：30～16：30 土曜日・学校休校日10：00～16：00	送迎実施の有無 送迎あり（要相談）
支援内容			
本人支援	健康・生活	健康状態をチェックする。緊急時に対応できる体制の整備する。基本的な生活習慣を身に付け、自分の事は自分でできるように生活や遊びの中で育ていき、生きる力をつけます。	
	運動・感覚	姿勢保持や動作の基本的技能の習得、上下肢の運動、協調運動など個の未発達、苦手な部分を見つけ評価し、適切なアプローチをします。	
	認知・行動	数や時間の概念、形、色、大きさ、長さなどの習得に向けて支援します。視覚、聴覚、どちらからのアプローチが有効か評価し、必要な情報を認知し、行動に移せる認知過程の発達を促します。	
	言語 コミュニケーション	物の名前を絵カードとマッチングします。自分がしたい行動を写真やイラストで伝え、習得します。相手に伝える方法を模索します。自分を知り、自分や相手の気持ち・周りの状況判断を理解し、集団の中で他の人と関わる楽しさを知ります。	
	人間関係・社会性	一人遊びも十分満足した上で、共同遊び、集団遊びへと遂行していけるように支援します。共通ルールを知り、集団遊びの楽しさ、達成感を得られるようにします。また、自分の行動、気持ちのコントロールの支援を通じて対人関係に興味をもち、将来の社会性に繋げていけるようにします。	
家族支援		必要に応じて、相談援助を行い、家庭での困り感の軽減を図ります。関係者、関係機関との情報共有の場を設け、連携体制を構築します。	移行支援 本人、家族のニーズを確認しながら、学年移行や今後を見据えた就労移行など視野に入れつつ、関係機関との連携を図ります。新環境に適応できるように継続的サポートもしていきます。
地域支援・地域連携		家庭・学校・福祉のトライアングルの連携を強化し、子ども一人一人が一貫した支援を平等に受けられるように、情報共有は密に取り合います。	職員の質の向上 毎日の支援の振りかえりを行い、その日にあった問題点、対策方法の模索、実践へと繋げていきます。障害名などに縛られず、個の特性に寄り添うことができるように勉強会や研修などに参加し、支援の質を高めます。
主な行事等		季節にちなんだ行事 自己紹介会、ミニ運動会、夏祭りor秋祭り、クリスマス会、成果発表会、外出プラン、年2回避難訓練。同系列の就労事業所のパンの購入体験、老人介護施設との交流。不定期で地域のボランティアのボッチャ体験や音楽鑑賞等。	